

事故を起こさないために 夏山の気象を知ろう

日本気象協会・清水輝和子

青い空にそそり立つ岩稜や、緑の木々に囲まれた

冷たい溪流を思い浮かべ、

そろそろ夏山の計画を立てている会員も多いと思います。

雪が消えて山も落ち着く夏は、登山のシーズン。

しかし、遭難事故も夏に多発しています。その原因の多くは、大雨、台風、落雷など、天候の急変によるといわれています。

悪天を避けて楽しい登山をするために、

夏の気象の特徴を清水輝和子さんに解説していただきました。



夏の甲斐駒ヶ岳仙丈岳より



1999 年 (平成 11 年)

6 月号 (No. 649)

社団法人 日本山岳会

The Japanese Alpine Club

定価 1 部 150 円

目 次

夏山の気象を知ろう	1
ガンカープンスム峰周辺のブータン 政府発行の地図の考察	3
海外の山・マロリー、やはり未登頂か	4
報告	
図書委・山を語る	6
図書委・山岳図書を語る夕べ	6
山げらの会・クロカンセミナー	7
わが支部とっておきの一山	
石川・奥獅子吼山 山形・瀧山	8
山陰・船上山 青森・大盡山	9
熊本・上福根山 福島・霊山	10
秋田・三森山 東海・鎌ヶ岳	11
東西南北	
水越武さんにふたつの朗報	12
杉山さんの時代	12
海外山岳200登頂を達成して	13
宮沢賢治・終焉のロマン	14
図書紹介	15
『ヒマラヤで考えたこと』『川喜多二 郎著作集別巻』『日本スキー・もう ひとつの源流』『遙なり曲阿加吉瑪』	
図書受入報告・ルーム日誌	16
新入会員	17
会務報告・会員異動	18
INFORMATION	19

▶ 日本山岳会事務取扱時間	
月・火・木	10~20時
水・金	13~20時
第2、第4土曜日	閉室
第1、第3、第5土曜日	10~18時
▶ 図書室開室時間	
日曜・祭日・月曜日を除く毎日	13~20時

■昨夏は悪天による遭難事故多発

長野県警山岳遭難事故統計によると、昨年の長野県内の登山者数は、上高地群発地震の影響に加え、天候にも恵まれなかったことから、前年に比べ約一二パーセント減少した。にもかかわらず、遭難事故は百七件と八件も増えている。しかも、発件数を季節別に見ると、七、八月の夏山シーズンに集中し、半数を超えた。これは、夏山の最盛期に当たる七月下旬から八月にかけて、大雨や集中豪雨が発生したため、悪天による遭難事故が相次いだからだ。

■北日本は冷夏、西日本は猛暑

八月二日、関東甲信地方はやつとツユが明け、そのころ新潟では観測開始以来の集中豪雨があった。気象庁は「北陸、東北地方のツユ明けは

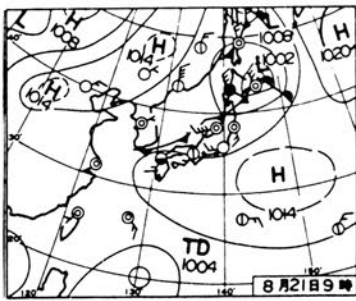


図3 平成7年8月21日天気図

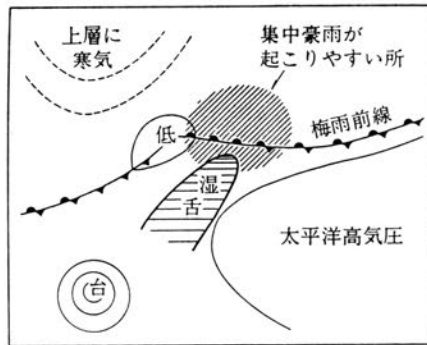


図2 集中豪雨の起りやすいところ (安斎、1994)

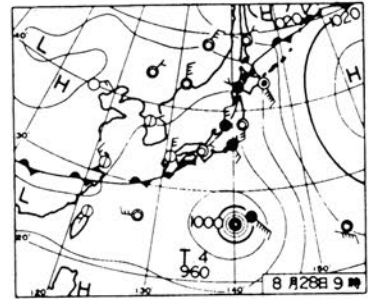


図1 平成10年8月28日地上天気図

特定できない」と、異例の発表をした。この異常とも思われる天候の背景には、北日本冷夏、西日本猛暑という極端な対峙があげられる。

東日本は寒、暖気団にはさまれ、前線活動は活発で「平成十年八月豪雨(二十六、三十一日)」が降った。東日本の山は大荒れの天候で、夏山遭難を防ぐ教訓を残した。

たとえば、天気図上に日本列島を縦断する前線と、南海上に台風が現れたら、山は大雷雨や暴風雨に襲われる。それにもかかわらず山に行くのは極めて危険である、という話からはじめよう。

図1は、北アルプスで死傷者を出す落雷事故(二件)が発生した八月二十八日の天気図である。これは典型的な集中豪雨型で、二十七、二十八日にかけて那須、丹沢、南アルプスなどで一時間に五〇〜一〇〇ミリの強い雨が降った。

図2に、集中豪雨型の模式図を示す。太平洋高気圧の縁辺部を回って暖かく湿った空気が流入し、前線活動が活発になる。南海上の台風は、暖湿流を送り込むポンプのような役割をし、前線の活動をさらに活発化させる。暖湿流域は舌のような形をしているので、「湿舌」と呼ばれ、その先端の前線付近で集中豪雨がよく起こる。風下にあたる山の斜面で

は積乱雲が次々と入り、短時間の強雨や突風があり、崖崩れ、鉄砲水などの恐れがある。

豪雨発生のない山域でも大気は不安定で、大雷雨になりやすい。アプローチの段階から危険なので、予想天気図が集中豪雨型になったら、山には絶対に近づいてはならない。

昨夏は八月中旬にも集中豪雨が降り、岐阜県白川郷では、土砂崩れのためキャンプ客百余人が孤立。烏帽子小屋から下山した麗澤大学山の会のパーティーのうち、二人が濁流に流され、一人が行方不明となったのは、痛ましい事故として記憶に残った。

この他、雨天中の行動でスリップ、道に迷う、雨で雪がゆるんで発生したと考えられる落石事故があった。大冷夏の年や熱帯低気圧が次々と北上するなど、天候不順の年は、長期の縦走や沢登りは避け、天候の回復を待って、短期間の山行計画に変える必要がある。昨年の夏を教訓にし、暑い夏は毎年約束されているわけではないことを、登山者は知っておくべきであろう。

ところで、気象庁の長期予報によると、今年は夏らしい暑い夏が期待でき、昨年のような天候不順にはならないようだ。とは言っても、北日本には寒気の南下する時期があり、本州の山岳地帯は前線による悪天が

「ツユ明け十日」とよく言われるが、ツユ明け後に安定した夏空が十日程度続く年は意外と少ない。ツユが明けても梅雨前線が北日本に残っていると、東北の山はもちろん、北アルプスや八ヶ岳、白山、上越県境の山々も雨や雷雨となり、悪天が続く。

また、梅雨前線が南下してツユが明けることもある。南と北の気団の境がなくなると、次第に夏型の気圧配置に移行するが、山岳地帯の天候は雨や雷雨ではばらくは安定しない。

予想される。

■夏山気象の基礎

予想される。

コンパスグラス HB-3

広視野10°の明るい視野に目盛が重なって見えます。見た目像がそのまま正しい磁気方位です。

重量78g.

つや消し黒 ￥17,000 送料 ￥600

実色メタリック ￥18,000 消費税別

カタログ代無料、電話、FAX、葉書でどうぞ

〒177 東京都練馬区上石神井1丁目37番13号

株式会社 石神井計器製作所 TEL 03-3928-5411 FAX 03-3928-5411

日本付近に梅雨前線がなくなり、太平洋高気圧に広く覆われるようになれば、本格的な夏山シーズンとなる。

太平洋高気圧の勢力は、一週間から十日くらいの周期で弱まったり強まったりする。弱まると、図3のように北日本を低気圧が通るので、北海道や東北の山は雨や雷雨となるし、その他の山でも、寒冷前線の通過とその後の上空寒気の影響で、数日間雷雨が続く。前述したように、この夏注意したいのは、この天気図型である。

雷雨といえ、夏の午後は毎日のようにあり、早立ち、早着は、登山者の常識となっている。上空に寒気が入ると、発生時間も早まり、寒冷前線の通過と日中の昇温が重なると大雷雨となる。

また、台風は接近数、発生数ともに八月が最も多い。南海上に離れていても、一晩のうちに北上して風に遭った、という経験が私にもある。山岳地帯は地上より早く影響を受けるので、台風が南海上にあるときは、ラジオやテレビで最新情報を入手する。進路予想は気象庁の発表をよく聞き、素人判断はしないことが鉄則である。

夏山でもよくあるのは疲労凍死、雨や汗で濡れた体に強風が吹き付け

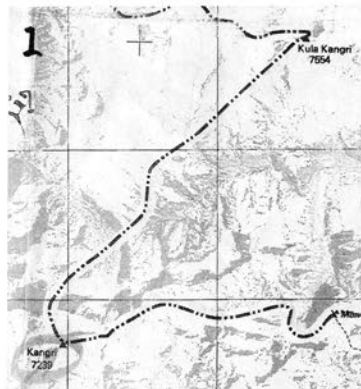
ると、体温が急激に下がり、思考能力も低下する。風速が一メートル増すごとに、濡れている皮膚の温度は一・一〜一・七度下がる。二五〇〇メートル以上の山では、真夏でも雨天の日の最高気温は一〇度前後。稜線では秒速二〇メートル以上の風も珍しくない。

また、食物の補給がないと、体温を保つためにエネルギーを消耗し、体温が二〇度以下になって死亡する。風の強い雨天には無理に行動せず、

ガンカープンスム峰周辺の ブータン政府発行の地図の考察

斎藤惇生

四月号の「山」に「南側からの視点」と題して、吉永会員が中国・ブータン国境について論文を発表され、参考にした地図に誤りがあり、当事国である中国・ブータンの



ブータン政府1987 (World Bank協力) Landsat衛星写真使用1/250,000
国境については Should be taken as authoritative の但し書きあり



行動中は糖分の補給を心がける。下着は速乾性の化繊を着用するなどの予防が大切。

以上夏山気象のポイントを述べたが、最も重要なのは、気象知識を生かすことである。悪天の予想ができて、計画の変更や中止ができなければ意味がない。天候より休暇や登頂計画を優先させた行動が多く、事故を生んでいる。「また来ようね」といえる精神的な余裕と柔軟性が、初心者にもベテランにも必要なのである。

誤解を招く恐れがあるので訂正したい。

吉永会員はブータン政府発行の地図

図はすべて、国境線はガンカープンスムから北東方約二六キロメートルのクラーカンリに至る線になっていると書いておられる。しかしこれは決して吉永会員が書かれた地図のようには直線でない。第1図のブータン政府発行の地図(二五万分の一、等高線なし、一九八七年)を見ると、ガンカープンスムより約三キロ北北西へ向かい、そして転じて北東方に延びてクラーカンリに至っている。

第2図の中国発行のGULHAK ANGR I (庫拉崗日) (クラーカンリ、二五万分の一、等高線入り、約一・二倍拡大) に上記の国境線を記入してみると、図のようになる。ガンカープンスムよりリヤンカンカンリ(七五三四メートル)を結ぶ稜線を通り、その北の六九二七メートルと記載された地点より北東へ向かい延びてクラーカンリに達している。国境については当事国の問題であり、部外国の者が研究し、論じるときは極めて慎重でなければならない。なお、ガンカープンスムは「三人の兄弟のような白い氷河(雪)」の意味で、スムは数字の三であり、中国(チベット)ではツム、ズムと発音されない。

(注・ブータン、中国双方の地図でガンカープンスム、クラーカンリとも標高が異なっている。)

海外の山

マロリー、やはり未登頂か？

江本 嘉伸



ジョージ・マロリー、37歳だった

高度計などその場で公開しなかった他の遺品を含め、すべての遺品は「アメリカ国際登山探検調査基金 (American Foundation for International Mountaineering Explorations and Research)」にいったん寄託され、博物館などで展示するかどうか、あるいは遺族に渡すか決められるという。

五月二十五日、カトマンズの「ヤク & イエティ・ホテル」には、内外の報道陣が殺到した。エリック・サイモンソンをリーダーとする「マロリー、アーヴィン捜索隊」が下山、五月一日に八三〇メートル地点で発見したジョージ・マロリーと遺留品について、はじめて記者会見を開いたのである。

会見の場では、捜索隊が持ちかえったマロリーの遺品のうち、マロリーのインシヤルの縫い取りがあるスカーフ、ポケットの中にあつた氷河用ゴーグル、マロリーがつけていたロープの一部、そして二四年当時の酸素ボンベが公開された。

家族からの手紙、ポケットナイフ、

ジョージ・マロリーは、一八八六(明治一九)年六月十八日、英国国教会の牧師の家の長男として生まれた。恩師アーヴィンクの指導で十八歳の頃から登山をはじめ、やがて、数々のアルプス登攀をこなしながら稀代のアルピニストとして成長してゆく。

第一次世界大戦後の一九一九年、王立地理学協会と英国山岳会が合同で「エヴェレスト委員会」を作った時、マロリーは、真っ先に隊員に選ばれたのはじめ、二次、三次と続いた本隊のいずれにも第一線のクライマーとして参加している。

マロリーの功績の第一は、ハワー

ド・バリー大佐を隊長とする一九二一年の一次隊で、ノースコルのルートを見つけたことだ。東ロンブク氷河への狭い入り口がわからず、大変な迂回を強いられた上、九月二十四日になって、ようやく七千メートルのノース・コルに立ち、登頂ルートを極めたのである。五月十八日、インドのダーージリンを出発してから四カ月以上かかっていた。

翌一九二二年には、登頂を目的とする本隊がC・G・ブルースを隊長として組織された。ロンブク氷河の末端にベースキャンプを張り、いよいよ頂上攻略にはいった。

マロリーは、無論その先頭にいた。マロリーたちは五月二十日には八二五メートルと、人類としてはじめて八千メートルを越えた。しかし、二回のアタックの失敗後、六月七日、ノースコルの斜面で雪崩が発生、七人のシェルパが死亡するという悲痛な事態となり、登山は終了した。

マロリーは、一次、二次隊での活躍で、エヴェレスト登山の「スター」となった。もともと、その容姿は「ギリシアの神のよう」と形容された登山家だ。資金集めの目的から、あちこちの講演に駆り出された。

国内だけでなく、一九二三年には三カ月間、米各地を講演旅行してい

る。その年の三月、ニューヨークで講演した際、ニューヨーク・タイムズ紙のインタビュアーを受けた。「なぜエヴェレストに行くのですか？」との質問に答えて、こう言った。

「Because it is there (それが、そこにあるから)」

やがて、この言葉は世界中に広まることとなった。

そして、運命の一九二四年、第三次隊(隊長は、二次隊と同じブルース)がチベットに向かった。三十七歳になったジョージ・マロリーは、弱冠二十二歳のアンドルー・アーヴィンとともに、第二次アタック隊として六月八日早朝、第六キャンプを出た。第五キャンプにいたノエル・オデルが目撃した二人の姿が最後となった。

マロリーとアーヴィンは頂上に達したのだろうか、それとも途中で力尽きたのだろうか。そのことについての、果てしない議論が始まった。

二人を最後に目撃したオデルは、登頂し、降路で道を失い、倒れたのではないかと主張した。八〇年八月、日本山岳会の招きで来日した(八十九歳になっていた)時も「おそらく頂上に立ったと思います。しかし、下降中になにかまずいことがあって、帰ってこれなかったのだ、

と」と語っている。

しかし、三次隊で大クローワールの八五七二メートル地点まで登り、最高到達記録を作ったノートンはじめ他のメンバーは、時間からいえば登頂以前にスリッパした可能性の方が強いのではないかと、この立場をとった。

今回、「マロリー、アーヴィン捜索隊」は、二人が頂上まで登った可能性を確かめるために、ユニークな方法を試みた。

発見者のコンラッド・アンカーとデイブ・ハーンの二人のクライマーは、今度は頂上をめざし、その途中、第二ステップでフリー登攀を試みたのである。なぜ、フリーで登る必要

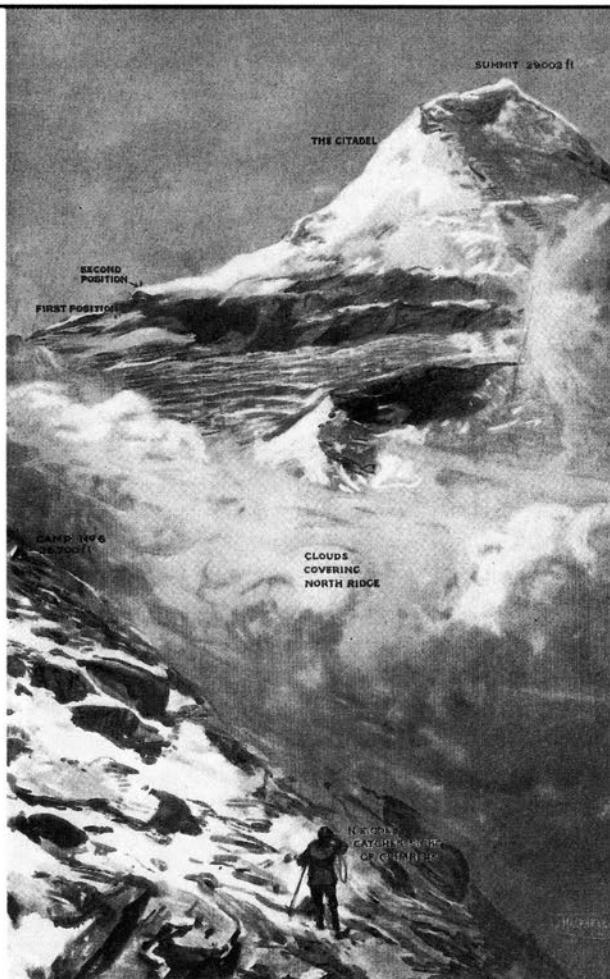
があったのか。

もともと北東稜上部には「第一ステップ」と呼ばれる岩場と、その上部の「第二ステップ」と呼ばれる二つの難所がある。「第一」はたいして難しくないが、「第二」はかなり手ごわく、一九六〇年に中国隊の王

富洲ら三人が登頂した時は三時間以上をかけ、三メートルのスラブを最後には肩車して乗っ越した、という。

しかし、この「第二ステップ」は一九七五年以降、ぐんと楽になった。この年第二登を果たした中国隊が、立派な梯子をかけてしまったからだ。

マロリーたちの時代には、勿論何もなかった。同じ条件で登り、どのくらい時間がかかるものか確かめよ



オデル（下方に立っている人物）が最後にマロリー、アーヴィンを見た場面の再現図。ノエル著「Through Tibet to Everest」(1927年)から

う、と、アンカーは、フリー登攀に挑戦したのである。

「核心部の三メートルは、5・8ぐらいの難しさ。四時間かかった。でも、第二ステップが技術的に難しいから、というのではなく上部全体の難しさから見て、個人の意見だが、マロリーたちが登頂できた可能性はない、と思う」と、アンカーは会見で話した。

今まだ結論は出せないが、少なくとも状況は、オデルよりはノートンの主張に近いものであった、と言えそうだ。

七五年の中国隊のキャンプ・サイトに近い場所に「英国人」の遺体を見た、という王洪宝の証言について、サイモンソンは「マロリーの遺体に誰かが近づいた形跡はまったくなく、七五年の目撃は別人物」との見方をとっている。王は、「英国人」の遺体を雪をかぶせて埋めた、と当時言っており、そういう痕跡はなかった、ということだろう。

とすれば、王が見たのはアーヴィンであつたかもしれない。

エヴェレスト委員会の委員長となつたフランシス・ヤングハズバンドは著書「The Epic of Mount Everest」の中で、マロリーたちのことを、こう追想している。

「彼らがどこで、いつ死んだのかはわからない。しかし、かつて人々が葬られたどんな高い地よりさらに一万フィートも高い場所、エヴェレストの腕に抱かれて二人は、永遠に眠っている。エヴェレストは確かに彼らの肉体は征服した。しかし、彼らの精神は生き続けている。これからヒマラヤの峰に登る者たちはマロリーとアーヴィンのことを思わずにはいられないだろう」

眠りを覚まされたマロリーは、自分のいる場所にうんざりしたことだろう。エヴェレストは、この春だけで南北両サイドから百人が頂上に立った。二十時間も頑張り、頂上滞在最長時間を記録したシエルバや、南峰で断念したボカラの十五歳の少年もいる。しかし、深刻なのは、マロリーに続いたこの山の犠牲者たちだ。今回、北東稜だけで十七人の遺体を見つけた、と「マロリー、アーヴィン捜索隊」はインターネット・ホームページで報告している。

報告

REPORT
6月

図書委員会

第七回 山を語る
ガッシャブルムⅡ峰に
登頂して

8000m峰登頂について語る渡邊玉枝さん

昨年十二月十一日、ガッシャブルムⅡの登頂成功からまだ半年も経っていない渡邊玉枝さんから話を聞く会を開いた。登頂時の模様は会報六

日本山岳会の各委員会
同好会の活動報告です。

四六号にご本人が素晴らしい手記を寄せておられるので、そちらを読んでいただきたい。今回は活発な質疑応答が続き、耳を傾けるべき話題が多かったので、興味深かったものを一、二紹介しておこう。

昨今、バキスタンの山ではネパールからのシェルパの入山が不許可となつて、現地のハイポーターを雇うようになつた。各地からまんべんなく雇用してほしいとの要請で、フンザから十人、バルチスタンから七人、スカルドから三人という構成になつた。彼らには気質や技術的な面で違いがあり、それぞれの地域差が感じられて興味深い面もあったが、ちょっとしたトラブルのもとにもなっている。

しかし教育の成果が現れて、徐々に質的に向上しているし、日本語ができるガイドも出現し、英語を使わなくてもいいので、誤解を避けるこ

とができて便利になつた。

ローポーターは出身の村ごとに老若がグループを結成し、長老格の者がまとめ役となつて和気あいあいの雰囲気醸成し、隊員をも明るい気持ちにさせてくれた。それを約五十人に一人の割合でいるサルダールがまとめているため、トラブルの処理や賃金の支払いもスムーズで、合理的な組織だつた。

中高年者の隊では、気をつけなければならぬことがあるが、今回はその一端が現れた観がある。それは高所での薬の服用である。平地では何ら問題がない薬でも、酸素の少ない高地では、その及ぼす影響には十分な注意が必要であることは前から指摘されていたが、図らずもそれが実証された場面があつた。

他にも三つの八千メートル峰の登頂を初めとして、多くの山を登った渡邊さんならではの話題が続出。パキスタンとネパールの人々の気質の違い、現地食の事情、中高年の高所登山の体力的な問題やトレーニングのこと、ゴミ処理の実践、構成メンバーのことなどなど、司会者が終了時刻の到来を告げるまで質問が続いた。それは、誰もが身近なものとしてこの登山を捉えていたためと思われる。

ただ「登頂できたのは運がよかつたから」の謙虚な言葉を顔面どおり受け取ってはならない実力の持ち主であることと、最近の海外登山ブームに対して示唆に富んだ指摘がなされていたことをつけ加えておこう。

(泉 久恵)

図書委員会

第三十回「山岳図書を語る夕べ」
山岳写真撮影の面白さ

「ヒマラヤ名峰事典」をはじめ多くの写真集で知られる藤田弘基氏を四月十四日、ルームにお招きして取材にまつわるお話をうかがつた。以下は概要である。

なぜ山の写真を撮るのか? と聞かれれば、中学生の頃マナスル、チヨゴリザ、そして処女峰アンナブルナの本に啓発され、現場で撮る写真家を目指したという。

一九七四〜七九年春までネパール・カトマンズに住み、東はカンチエンジュンガから西のアビまで十一山群を取材。当時は入山許可を取るのが大変なことであつた。

山の写真は、歩く、登る、よいシエルパとのコミュニケーションが大切で、今思うと辛いことが多かった。最高七三〇〇メートルの地点にテントを張り、山を狙つた。今でも六〇



ヒマラヤでの撮影について語る藤田弘基氏

〇〇メートルの高さに二カ所テントを設営し滞在する。六十歳の今日まで、安全第一を旨に綿密な計画を練り無事故である。

カメラは過酷な使用条件に耐え、分解掃除ができて電池を使わないリソフ4×5、ハッセル6×6を主に使用、望遠レンズは大気感・密度が薄くなるので使わない。立体感を出すためには、対峙する山にカメラが水平で撮れる地点まで登る。八〇〇メートル峰を狙うには六〇〇メートルくらいまで登ってテントを張り、最良の機会をうかがう。65か90ミリの広角レンズを使うと展望が広がる。

写真は二十四時間撮れる。昼は紫外線、夜は赤外線が支配する。日の出、日没前後は境目でその特色が出る。ネパールの緯度は奄美、沖縄と

カラコルムのK2は東京と緯度がほぼ同じだから、星座は沖縄、東京の空と同じものが撮れる。

ヒマラヤで一番華麗なネパールは、食糧、物価、人間関係がよく、雨期は幻想的で素晴らしい。花が咲き、暑さと湿度があり、楽しい。雨期といつても午前中は晴れるのに、一般的にトレッキングは秋が多く、とくに日本人は年末年始に多いが、寒さと乾燥で高度障害を招きやすい。もつと季節を考えるとよいと思う。

人と自然の接点(カルカと定住村の中間)にチベット密教の寺がある。人間、極限に住むと大変な能力を発揮するものだと感じる。チベット、ブータン、シッキム、ネパール、ラダックなどの百二十カ所の寺をめぐるチベット仏教シリーズをまとめた。今後もヒマラヤの二十四時間、この地域に住む人々の作る文化を対象にライフワークとしたい。

(三沢 三)

山げらの会

第二回クロカンセミナー 妙高高原で開催

山げらの会主催のクロカンセミナーに今年も参加しました。今年のセミナーは昨年と同様、妙高高原池ノ

平温泉、池酒屋旅館に宿泊して、二泊三日の予定で行われました。

あいにく天候には恵まれなかったのですが、参加したクロカン愛好者は、充実したプログラムを十分楽しんだことと思います。

三月十九日午後、横山先生のご指導で水平滑走訓練を行い、二日目は北川先生と中央大学スキー部四年の山田さんの指導で、昨日の復習を雪の降りしきる中、熱心に反復練習。さらに三キロコースの試走。午後は五キロコースへのチャレンジ。そして最終日は、山田さんの案内で、林間コースの散策と、盛りだくさんなメニューでした。

まず教わったこと、それはクロカンは歩くのではなく滑走すること。私たちは普段片足から片足への体重の移動で簡単に歩行しているにもかかわらず、ひとたびスキーをつける、この体重の移動がうまくできず、スキーを引きずる癖から解放されないのはどうしてでしょうか? ご指導いただいた先生からの助言として、ある程度のワックス技術を習得することがポイント。スキーがよく滑ってこそクロスカントリーは楽しめるからです。

ということ、技術的には苦勞したセミナーでしたが、周囲には若いノルディックスキーの選手たちが練

習しており、啓蒙されました。

練習の合間にとるコーヒープレイクは楽しみのひとつで、巨大お餅の入ったお汁粉が出るわ、キャンディーが出るわ。雪中行軍では紅茶を沸かしてトリフのチョコレートと果物のサービス。宿舎では抹茶のお点前。しかも金沢の和菓子付という豪華版。すべて山げらの会の皆さんと一部の心優しき男性参加者からの差し入れでした。

最後の日に、顔を見せた妙高山もさぞや楽しんだことでしょう。次回は軽快な服装で、スキーの寵児”を口ずさみながら山野を跋涉しましょう。

(七里 直)

花の山旅 5~6月はペルーアンデスの花の季節です。

アンデス・ブランカ山群トレッキング 11日間

①東京→リマ ②ワラスへ ③ワラス ④ヴァケリアへ ⑤バリア谷へ ⑥タウリバンバへ ⑦ヤマコラルへ ⑧ワラスへ ⑨リマへ ⑩機内 ⑪東京へ

〈出発日〉 ●7/15 ●8/2 ●8/25 ●9/13

450,000円~580,000円(8/2発)

新 総合カタログ(全138ページ)ご請求下さい。



ALPAIN ツア サービス 株式会社

〒105-0003 港区西新橋1-12-1(西新橋1森ビル) TEL.03-3503-1911

大阪 ☎06(6444)3033 名古屋 ☎052(581)3211 福岡 ☎092(715)1557

の一山わが支部とおきの一山わが支部とおきの一山わが支部とおきの一山わが支部とおきの一山

石川支部

家族連れで楽しめる山

おくししくやま

奥獅子吼山 (928.1m)

奥獅子吼山は金沢から近くて、白山から連なる山々や手取川扇状地を一望できる名山です。ゴンドラを使って登れば、小さなお子さん連れでも無理なく登れる山として人気があります。

ロープウエーの山頂駅から頂上へと続く道は、なだらかでアップダウンの少ない快適な稜線です。この稜線は春にはスミレ、カタクリの花が咲き、さながら花街道の趣があります。また秋にはアケビ採りが楽しめる稜線です。

なお、ゴンドラを使わずにロープウエー駅の右側の谷を渡り、杉林の中を登る道もありますが、稜線に出るまで1時間ほど急な坂道を登ることになります。

1	コースタイム	ロープウエー山頂駅-20分-月惜小屋-2時間-奥獅子吼山
2	地 図	国土地理院発行 (1/25,000地形図) 鶴来、口直海
3	交 通	J R 西金沢駅-北陸鉄道石川線加賀一宮下車-徒歩-ロープウエー駅 J R 金沢駅-加賀一宮(バス)白峰行き *鶴来行き方面バスは市内の兼六園始発となる
4	付近の観光地	白山比咩神社、パーク獅子吼、ふれあい昆虫館、石川県樹木公園、加賀菊酒の里 *ロープウエーの運転日に注意 (TEL・07619-2-0600 スカイ獅子吼まで)
5	参 考 図 書	『日本列島花Maps 北陸の花 part2』(北陸館刊) 石川県山岳協会編『石川の山』(北国書籍印刷刊) 石川県勤労者山岳連盟編『新北陸の名山』
6	問い合わせ先	織田伸治 (8116) 中川博人 (7463)

山形支部

修験道の山

りゅうざん

瀧山 (1362.1m)

瀧山火山は、もとは山の断面より判断しホマーテ式の火山であったと考えられるが、南側と西側が大きな爆裂火口によって破壊されたため、火山らしからぬアルペンフォームを呈している。植生は、ブナ原生林がまだ残存し、山頂付近では中央蔵王では見られないオキナグサ、エゾジャコウソウ、シモツケソウなどが確認される。

瀧山時代年表によると「851年仁壽元年、慈覚大師が瀧山頂上に神室堂を創建、本地仏薬師如来」とあり、以後鎌倉時代、正嘉2年北条時頼により閉山を申し付けられるまでの約300年大いに繁栄した。とくに山麓一帯に分布する数々の史跡ひとつひとつに先人の足跡を見る思いがし、修験道の山として栄えた当時の繁栄が偲ばれる。

1	コースタイム	A: 蔵王登山口-ヘラハギ-山頂 (2時間30分)-蔵王温泉 (1時間30分) B: 蔵王登山口-姥神-山頂 (2時間) C: 蔵王登山口-大滝-山頂 (1時間30分) *帰路は姥神コース (1時間30分)
2	地 図	国土地理院発行 (1/25,000地形図) 笹谷峠、山形南部、蔵王山 国土地理院発行 (1/50,000地形図) 山形
3	交 通	J R 山形駅-路線バス野草園行きまたはタクシーで登山口 (30分) 山形自動車道・山形蔵王 I C-蔵王高原ライン-登山口 (約15分) 国道13号線小立交差点-国道53号線-登山口 (約15分)
4	付近の観光地	山形野草園 TEL・023-634-4120 瀧山山麓史跡名所41カ所の神社仏閣、史跡、名水、名樹など 山形市観光協会 (TEL・023-641-1112) 平清水焼: 青龍窯 (TEL・023-631-2828) 蔵王温泉: 蔵王温泉観光協会 (TEL・023-694-9328)
5	参 考 図 書	『山形百山』(無明舎刊) 山形県学術調査編『蔵王連峰』
6	問い合わせ先	大場俊司 (9950) 長岡伸恭 (10761)

わが支部とっておきの一山わが支部とっておきの一山わが支部とっておきの一山

山陰支部

「建武中興」ゆかりの山

せんじょうさん

船上山 (616m)

船上山は伯耆大山の東方に位置し、なだらかな山容が船底の形に似ているところから船上山と呼ばれている。元弘3年名和長年は、隠岐を脱出した後醍醐天皇を奉じ、船上山の天険に立てこもり、北条方の佐々木清高を破った話は多くの人が知るところである。

滝あり、断崖絶壁ありと、展望にも恵まれていて、ハイキングに、岩登りにと楽しい1日を過ごすことができる。とくに岩登りのゲレンデとして親しまれている屏風岩は幅600mにも及び、岩壁はのしかかるように迫ってくる。高さ60mの見事な雄滝、雌滝は一見の価値がある。船上越から伯耆大山への縦走路もあるが、今回は古戦場など史跡巡りを楽しむコースを紹介する。

1	コースタイム	少年自然の家-20分-林道・東坂登山口60分-船上山-15分-船上山神社・横手道分岐-40分-雄滝・雌滝
2	地図	国土地理院発行(1/25,000地形図) 船上山
3	交通	J R山陰本線赤碕駅-日の丸バス-30分 日の丸自動車赤碕駅前案内所 (TEL・0858-55-0607)
4	付近の観光地	伯耆大山 (J R米子駅よりバスあり) 皆生温泉 (J R米子駅よりバス、タクシー) 伯耆国山岳美術館 (J R伯耆溝口駅よりバス、タクシー TEL・0859-63-0396)
5	参考図書	『分県登山ガイド 鳥取県の山』(山と溪谷社刊) 『大山を歩く』(たたら書房刊) 伯耆文庫『大山をめぐる山々』(今井書店刊) 日本山岳会山陰支部編『山陰の百山』 『大山・その自然と歴史』(山陽新聞社刊)
6	問い合わせ先	吉川明秀 (11363) 松下順一 (11358)

青森支部

ガイドブックにない超A級の山

おおづくしやま

大盡山 (827.7m)

大盡山は青森県下北半島にあり、高野山、比叡山と並ぶ日本三大霊山のひとつ恐山、別名「宇曽利山」の中にある。その山を形成しているのは、宇曽利山湖を取り囲むようにそびえる大盡、小盡、屏風、釜臥など八つの外輪山、その姿は蓮華八葉と呼ばれている。

江戸中期の国学者・紀行家の菅江真澄は随筆『月の出羽路』の中で盡とは橋材を形容したもので、ともに支え合うとの意であろうといわれている。夫婦岩と一緒に大盡、小盡があり、北海道にも存在する。

山は宇曽利山湖の湖畔を見て1時間10分ほど平地を歩く。大盡沢より登りに入るが、ヒバとブナの原生林が非常に気持ちがいい。峠の一体地蔵を越えると30分で山頂である。360度のパノラマに恵まれ、陸奥湾、津軽海峡、太平洋を臨むことができる。

1	コースタイム	恐山駐車場-1時間10分-大盡沢-1時間10分-一体地蔵-30分-山頂
2	地図	国土地理院発行(1/25,000地形図) 恐山
3	交通	J R青森駅-特急30分-野辺地-J R大湊線-1時間-大湊-バス40分-恐山駐車場 むつ市観光課 (TEL・0175-27-1111)
4	付近の観光地	釜臥山 (879m): 夜景が素晴らしい 尻屋崎灯台 葉研(やげん)温泉 (TEL・0175-34-3311) 恐山 (TEL・0175-22-3825)
5	参考図書	菅江真澄著『月の出羽路』
6	問い合わせ先	松島静吾 (6192) 中村勉 (9498)

の一山わが支部とっておきの一山わが支部とっておきの一山わが支部とっておきの一山わが支部とっておきの一山

熊 本 支 部

秘境、五家荘山地の最高峰

かんぶくねやま

上福根山 (1645m)

上福根山は五家荘山地の最高峰である。根張りの大きな堂々とした山容で、露払いに山犬切(1621m)、太刀持ちには茶白山(1446m)と見立てると、五家荘部屋の横綱の貫禄十分というところ。五家荘南部の樅木、久連子、椎原三地区の中央にあり、登路もかつてはそれぞれの地区からつけられていた。

近年伐採が進み、林道が開発されて、昔日の面影が薄れつつあるが、東側の山犬切へ至る北斜面一帯は、鬱蒼とした天然林に覆われ、稜線部には重厚なブナ林や、ツクシシクナゲの群落が見られる。

1	コースタイム	久連子・平岩ー1時間10分ー岩宇土鍾乳洞ー30分ー岩宇土山ー20分ー林道川口線ー40分ー上福根山
2	地 図	国土地理院発行(1/25,000地形図) 椎原
3	交 通	五家荘は路線バスがないので、自家用車またはレンタカーを利用する。 人吉(バス1時間14分)ー頭地(タクシー40分)ー久連子 人吉(バス1時間40分)ー上玄地ー徒歩8kmー久連子
4	付近の観光地	五家荘一帯:久連子「古代の里」、樅木「平家の里」民宿あり 五木村「子守り歌の里」民宿あり *泉村企画振興課(Tel・0965-67-2111)
5	参 考 図 書	日本山岳会熊本支部設立40周年記念誌『熊本40山』 吉川満著『分県登山ガイド 熊本県の山』(山と溪谷社刊) 渡部智俱人著『九州百山峰』(葦書房刊) 熊本の風土とこころ編集委員会編『熊本の山』(熊本日々新聞社刊)
6	問い合わせ先	廣永峻一(10080) 本田誠也(5421)

福 島 支 部

阿武隈山脈北部、錦秋の名山

りょうぜん

霊山 (825m)

霊山は第三紀頃(3500万年前)、花崗岩上に噴出した集こん岩でできている。長い年月の間に風化、浸食が進み、現在の特異な形となり、そそり立つ奇岩怪石はひときり威容を誇り、四季の変化がさらに景観をひきたてている。春の岩場に映えるツツジ、そして秋には目をみはる紅葉の美しさ……。

優しさの中にも厳しい自然条件が備わっており、地形はまさに天然の要塞で、延元の昔、陸奥守北畠顕家がこの地に立てこもり、奥州鎮撫の根拠地としたのうなずける。

ゆっくり、ゆったりと、太古に夢をはせながら、四季を通して登山を楽しむことのできる山である。

1	コースタイム	行合道(登山口、バス停)30分ー登山口(駐車場)ー30分ー宝寿台ー15分ー国司沢(水場)ー15分ー親不知子不知・護摩壇ー15分ー国司館跡・霊山城跡(広場)ー15分ー東物見岩・学問岩ー10分ー天の釣船ー10分ー五百羅漢岩ー15分ー日暮岩ー20分ー登山口
2	地 図	国土地理院発行(1/25,000地形図) 霊山、(1/50,000地形図) 保原
3	交 通	J R福島駅下車、福島交通バス相馬行き(約1時間)、霊山こどもの村入口か行合道下車 東北自動車道、福島西ICよりR115相馬方面約32km(50分)、R6相馬市より福島方面約28km(40分)
4	付近の観光地	霊山寺、霊山神社、霊山湧水の里(キャンプ場)、紫明峰岩めぐりコースなど。バスの便が悪いので、掛田よりタクシーがよい(丸和タクシー Tel・024-586-1083) 霊山こどもの村・遊びと学びのミュージアム(登山口地内)、県立自然公園松川浦、相馬港 霊山町観光協会(Tel・024-586-3400) ボランティアの道案内あり
5	参 考 図 書	『分県登山ガイド 福島県の山』(山と溪谷社刊) 『東北百名山』『福島県観光ガイド』
6	問い合わせ先	阿部明義(9313)

わが支部とっておきの一山わが支部とっておきの一山わが支部とっておきの一山

秋田支部

秋田県の知られざる天下八方

みつもりやま

三森山 (1102m)

三森山は秋田と岩手の県境に位置し、平鹿郡山内村黒沢地区の国道からひととき高く望まれる山であり、県内岳人にもその存在をあまり知られていない。

山頂からは、焼石連峰などの眺望が格別素晴らしく、地元では古くから「天下八方」の異名で愛称されている。北斜面一帯は、かつては広大なブナ地帯であったが、長年の間杉の造林地として開発され、その林道が年々延長されるにしたがい、アプローチが短くなった。近年、村で計画していた登山道も3年前にようやく完成、一般登山者も楽しめる山となった。

上黒沢集落から整備された林道・三森線を行くと杉の造林地が広がり、さらに進むと道標の立つ登山口がある。造林地の中の小沢を巻いて進むとジグザグの登り、急斜面を登りきって主稜線を少し進むと展望の広がる山頂に飛び出す。

1	コースタイム	登山口ー2時間ー山頂
2	地図	国土地理院発行(1/25,000地形図) 三界山、田子内、羽後黒沢
3	交通	J R北上線黒沢駅下車、バスはないのでマイカーかタクシーを利用
4	付近の観光地	三叉温泉、相野々温泉、鶴ヶ池公園 白木峠ハイキングコース、筏の大杉
5	参考図書	とくになし
6	問い合わせ先	佐々木民秀(5748)

東海支部

鈴鹿のヴァイスホルン

かまがたけ

鎌ヶ岳 (1157m)

鈴鹿山脈は、滋賀、岐阜、三重の三県にまたがり、北は関ヶ原から霊仙山を起し、南進して俗に「伊賀越え」という加太越(かぶとごえ、507m)で終わる。この中で一番さっそうとした山容を誇るのが鎌ヶ岳である。山頂から激しく侵食を受け、アルプス的で、鈴鹿の槍と称される山容は、どこから見ても納得できる。

昔、都より東国へ下った征夷大将軍の坂上田村麿も、京へ上った弥次さん、喜多さんも鎌ヶ岳を仰ぎ見て気に留めたに違いなからう。鎌はそんな印象に残る山で、鈴鹿のヴァイスホルンである。

鎌ヶ岳には多くのルートがある。雲母(きらら)峰よりの縦走、水沢峠より鎌尾根を登るルート、谷歩きで長石谷、三ツ口谷、宮妻峠からカズラ谷、ニゴリ谷から岳峠など、バリエーションは豊富。

1	コースタイム	近鉄湯の山線、湯の山駅よりバスー湯の山温泉(登山口)ー1時間ー武平峠ー1時間30分ー鎌ヶ岳山頂 *ロープウエー、リフトを乗り継げば20分で山頂へ
2	地図	国土地理院発行(1/25,000地形図) 御在所山、伊船(1/50,000地形図) 御在所山、亀山
3	交通	近鉄名古屋駅ー特急1時間ー湯の山温泉駅ーバス10分ー湯の山温泉 近鉄難波駅ー特急2時間20分、近鉄四日市駅ーバス50分ー宮妻口 東名阪自動車道四日市ICより鈴鹿スカイライン経由ー45分ー武平峠
4	付近の観光地	湯の山温泉: 鈴鹿の名湯 御在所山頂; カモシカセンター、自然科学博物館 *近鉄テレフォンセンター(Tel・052-561-1604) *湯の山観光協会(Tel・0593-92-3155)
5	参考図書	日本山岳会東海支部編『名古屋からの山なみ』(中日新聞社刊) 日本山岳会東海支部編『名古屋周辺・山旅徹底ガイド 台高、鈴鹿、奥美濃編』 『続・山旅徹底ガイド 裏木曾、東濃、奥三河』(中日新聞社刊)
6	問い合わせ先	野呂邦彦(9569) 萩徹(10827)

東西南北

会員の皆様のご意見、エッセイ、俳句、短歌、詩などを掲載するページです。どしどしご投稿ください。(紙面に限りがありますので、一点につき二〇〇字詰原稿用紙五〜六枚でお願いします)



イラスト 野田四郎

水越武さんにふたつの朗報

杉本 誠

本会会員の写真家、水越武さんにふたつの朗報がある。一つは昨年、岩波書店から出版した写真集『森林列島』が毎日新聞社主催の第十八回土門拳賞を受賞したことである。同書については『山岳』第九三年号に詳細に紹介したが、ドキュメンタリーな傾向が多い同賞の中で、日本の生態系保存の大切さを静かに、しかも確かな映像で記録した『森林列島』は、最も現代的な課題を提供するものとして高い評価を受けた。授賞式は四月十四日に毎日新聞社パレスサイドビル九階のアラスカで行われ、その受賞作品展が銀座ニコンサロン(五月十一〜十七日)、大阪ニコンサロン(六月三〜十五日)で開催され



中央が水越武氏

た。もう一つはイタリア国立トリノ山岳博物館が企画・主催する写真展『四人の外国写真家が見たトリノ地方の渓谷』に水越さんが日本人作家として参加し、その展覧会が三月十

杉山さんの時代

児玉 茂

二日から五月三十日まで同館で開かれたことだ。他の三人はチェコ、カナダ、アメリカから選ばれ、それぞれ十五日間の日程で定められた渓谷を撮影して三十六枚ずつを展示した。現地からの報道によれば、東洋の黒の表現(すべてモノクロ写真)に深い関心が集まっているという。トリノ展終了後はイタリア国内を巡回する予定。

今年(一九九九)一月を以って、二十七年間日本山岳会の事務職を勤め上げられた杉山都子さんが退職された。日ごろルームを利用される方々はもちろんのこと、上京されて立ち寄られる方々、また電話で話をされた数多い会員にとって、いつもそこにいた杉山さんがいないのは少し寂しいことかと思う。

古い会報を引っ張り出して、杉山さんが事務所に勤めはじめたときの記事を探してみた。一九七二年六月の三三四号、五月理事・評議員会の報告事項の中に、「前任者佐々木光子氏退職による新任」と記されている。

会長は三田幸夫さん、副会長は吉

沢一郎さんと成瀬岩雄さんで、職員採用に係わる総務担当は中屋健式さん、林和夫さん、伊倉剛三さんという陣容だった。一九七〇年のエベレスト登山の後処理も一段落し、新しい事業として上高地の山岳研究所建設が動き出していった。山研が落成したのと同じころ、向井ビルのルームがお茶の水近くの利根川ビルに引越すことになった。各種の集會も盛んに行われるようになり、婦人懇談会、青年懇談会などの委員会活動も活発化して、ルームに出入りする人の数も増えだした時期である。

一九七二年十月ころ、私はまだ学生部の三年生で、年配者の集まりである日本山岳会を恐る恐る覗きに入ったことがある。狭い事務所には二人の人がいて一人は男性(岩佐義宗さん)だったのを覚えている。この時が杉山さんと会った最初だった。

ルームは三度も移ったが、二十七年の時間の中で事務所という人の集まる中心に変わらずにいて、会員以外の照会を含めて実に多くの人との出会いや交流や別れがあったことと思う。前会長の斎藤さんは三田さんから数えて九代目にあたり、会務処理を分担した理事、評議員の数は延べ三百人にもなっているはずだ。

事務所の杉山さんと机を並べていたパートナーは、七五年に岩佐さん



左端が筆者、ブライトホルン頂上にて

海外山岳二百登頂を達成して

協坂順一

から市村洋子さんに替わり、さらに高橋美津栄さんが継いだ。私自身もその後八六年秋から五年半一緒に仕事をさせていただき、宮澤美渚子さんに交代した。昨年の宮澤さんの退職も杉山さんは見送っている。

ずっと事務所から日本山岳会を見ていた杉山さんは、会の様子を最もよく知る一人になっていただろうし、一般の会員にとってはこの上ない窓口だったに違いない。これからのご健勝を切にお祈りしたい。

私は昨年八月十二日、スイス・イタリア国境にそびえるブライトホルン(四一六五メートル)で、兼ねての夢であった満八十五歳での海外山岳二百登頂をやり遂げた。

私が海外の山に初めて登ったのは昭和三十六年(一九六一)で、既に四十八歳になっていた。その後も海外の山に登り続けて、三十七年がかりで塵も積もって本当に山となったわけである。

ところで、私の過去を振り返ると、曲がりなりにも夢を追いかけてきた人生だったといえる。職業柄、医学(外科学)研究の面もそうであったが、山に関しては、さらに切実なものがあった。夢を持つことはより人生を豊かにし、生き甲斐ができるように思う。夢は持つだけでは意味がない。夢の達成に向かって精進を続けてゆくことが大切だと思うのである。まさに「連続は力」だといえる。

サムエル・ウルマンの有名な「青春の譜」の中に「人は年を重ねるから老いるのではない。夢、あるいは理想を失った時点で老いが始まる」という内容があるが、実に味わうべき言葉だと思う。要するに、夢を持つということとは老化防止にもなるといえるのではなからうか。

山に関する私の最初の夢は、若い頃からその姿形に憧れていたスイ

ス・イタリア国境にそそり立つ尖峰、マッターホルン(四四七八メートル)に登頂することで、それなりに岩登りの練習はしていた。そして麓の町ツェルマットに行き本物のマッターホルンを見上げたとき、こんな凄い山に果たして登れるものかと恐怖感に襲われてしまった。

しかし、ツェルマットきつての名ガイドといわれるハインリッヒ・タウグワルダーとともに、標高差二二〇〇メートルに及ぶ岩壁を攀じ登り、頂上に立ち得た時の感激はいまだに忘れられない。

これが病みつきになって、機会あるごとにマッターホルンはもちろん

その他の山にも登り続け、海外山岳の百登目はマッターホルンの第一百回目の登頂時(当時七十五歳)、百五十登目はアルプスの最高峰モンブラン(四八〇九メートル)で傘寿の祝いを兼ねた登頂であった。そしてさらに夢は膨らんで、前記の二百登頂をやり遂げたのであった。

その後の夢は、米寿で二百三十登、卒寿で二百五十登というもので、そのためのトレーニングに励んでいる昨今である。

ところで、この年齢でこんな山に登れるのも、ひとえに昭和三十年の元旦から四十数年間、毎日続けてきた独自のトレーニングと、合理的な

●新ハイキング選書●

●第20巻好評発売中●

一等三角点の山々

山口ゆき子/横山 隆/高柳生雄/川越はじめ/岡村美邦共著

A5版・310頁・定価1680円(税込)掲載の山 80山

新ハイキング社の一等三角点の山シリーズの三部作「一等三角点の名山100」「一等三角点の名山と秘境」「一等三角点の山々」も発売中

※3冊とも山は重複していません

●日本山岳会選定●話題の本●8刷増刷

日本300名山ガイド

〈東日本編〉〈西日本編〉

市川静子、岡田敏夫、岡部紀正 A5版・320頁

川越はじめ、廣澤和嘉 共著 定価各1680円(税込)

※著者はすべて日本山岳会会員です

新ハイキング社 東京都北区滝野川 7-6-13

☎(03)3915-8110 振替 00130-9-146915

食餌によって、若さを比較的長く維持できているお陰といえる。この私なりの具体的な健康づくりについては拙著「八十歳はまだ現役」(山と溪谷社)に詳述しているのでご参考になり得ると思う。

宮沢賢治・終焉のロマン 「経埋ムベキ山」と四つの星座

矢羽々文一郎

宮沢賢治(一八九六―一九三三)は、三十七歳の終焉に近い病床で、「雨ニモマケズ」を記した手帳の最終ページに近く、仏教の古くからの慣わしに従い、自分の信仰した法華経の經典を経筒に納め、それにふさわしい地に埋めおくことを願ひ「経埋ムベキ山」として三十山、二峠を書き残している。その地は北上川を中心に、奥羽山系の岩手山、篠木峠などの十五山、一峠。北上山系の姫神山、仙人峠などの十五山、一峠である。

賢治の作品に登場する山や峠は、架空のものを含めると百数十にもおよび、イーハトーブ(岩手県)だけでも八十余も存在する。

作品に登場する山と「経埋ムベキ山」との関わりでは、登場回数が最も多く「賢治三山」とも称すべき岩

手山、早池峰山、種山の三山。次に頻度の高い沼森、南昌山、江釣子森山が含まれていることは当然のことであろう。

しかし一度だけしか登場しない大森山などの六山もあげられ、意外なことに、作品に一度も登場しない黒森山、篠木峠などの九山、一峠が含まれている。

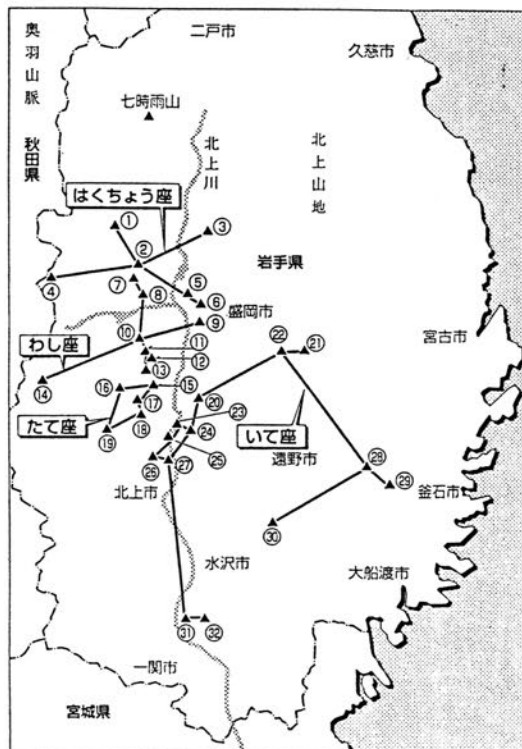
そこで、賢治が終焉の願いを込めて選んだ「経埋ムベキ山」には、作品とは別な意図があったのではなからうかと考えられる。

対象となつた地を幾度となく地図上に結んでみるうちに、少年時代から親しんでいた星座にかかわるのではないかと思われた。賢治にとって父なる山・岩手山を星座の頂点におき、母なる川・北上川を天の川になぞらえて「経埋ムベキ山」を投影すると、はくちよう(白鳥)座、わし(鷲)座、たて(盾)座、いて(射手)座の四つの星座が浮かび上がってきた。

これらの山々や峠を改めて訪れてみると、賢治の思いに胸をうたれるものがあつた。

はくちよう座は賢治が盛岡中学、盛岡高等農林の学生時代を過ごし、心をつたった盛岡周辺の岩手山、姫神山、駒ヶ岳などの奥羽、北上両山系の六山からなっている。

宮沢賢治の「経埋ムベキ山」と「四つの星座」



星座	番号	山名	標高(m)
はくちよう座	1	岩手山	2038
	2	沼森	582
	3	姫神山	1124
	4	駒ヶ岳	1637
	5	愛宕山	196
	6	岩山	341
わし座	7	鬼越山	438
	8	篠木峠	302
	9	篠ヶ森	225
	10	毒ヶ森	782
	11	南昌山	848
	12	東根山	928
たて座	13	上ノ平	562
	14	黒森山	661
	15	堂ヶ沢山	365
	16	大森山	544
	17	松倉山	384
	18	江釣子山	379
いて座	19	八方山	717
	20	権現堂山	476
	21	早池峰山	1917
	22	鶏頭山	1445
	23	胡四王	183
	24	観音山	261
その他	25	旧天山	120
	26	飯豊山	132
	27	物見峠	120
	28	六角牛山	1294
	29	仙人峠	887
	30	種山	871
	31	駒形山	430
	32	東岳山	586

わし座は「イーハトーブ」の原点とも思われる小岩井農場の周辺や教鞭をとっていた花巻農学校の生徒たちと度々訪れ、思い出の多かった七山、一峠からなっている。

たて座は妹トシへの鎮魂の思いを中世の騎士が携えた盾に託し、生前に保養のために過ごした、花巻温泉郷周辺のひっそりとしたたずまいの五つの山によってなされている。

いて座は「石ッコ賢さん」と呼ばれていた少年時代、岩鉱石や植物の

採集に歩き回った花巻周辺や、中学の修学旅行で訪れた平泉周辺の山々、高等農林の研究生時代、土性調査などで度々登った早池峰山などの十二山、一峠からなっている。

農民とともに生き、すべての人の幸せを生涯かけて祈った賢治が、終焉間近の病床で信仰とともに浮かんだ光景が、幼いころから愛し続けてきた山々と星座の結びつきであったのではなからうか。

(前大迫町立山岳博物館館長)

図書紹介



イラスト 蜂谷益雄

小野有五・著

『ヒマラヤで考えたこと』

著者初めてのヒマラヤ行きは、カ
ンチエンジュンガの氷河の空中写真
の撮影助手としての仕事だった。地
球科学者の目は飛行機の上からヒマ
ラヤの地形を眺め、活断層をとらえ、
ヒマラヤの生成を写真と作図でわか
りやすくわれわれに示してくれる。

次に訪れたヒマラヤは氷河調査隊
に加わって行ったランタン谷である。
約三カ月にわたったこのランタン谷
での調査から得られた多くの発見、
それは素晴らしい成果であった。で
も、著者がそこで考えたことは、科
学の研究とは何だろう、それは誰の
ための科学なんだろう、と。

ここに暮らす人々がいかに素晴ら
しい知恵を持ち、環境を考えた生活
をしているかを知ることによって、
この土地にきたときには考えもしな
かった疑問が湧いてきたという。

今の科学は、自然が無敵であり、
環境はいくら壊しても自然に直るも
の、と信じていた時代の科学や学問
であり、これから発展させなければ
ならないのは、今までに人間が壊し
てきた自然や環境を、できるだけも
とに取り戻すための科学、環境の科
学でなければならぬだろうと。

ジュニア向きに書かれた本書は、
平明な文章でわれわれが今考えなけ
ればならないことを説いている。若
者はもちろんすべての人々にとって
重大な課題だと思う。(渡邊玉枝)

一九九九年一月 岩波書店発行
一八二ページ 七億円

川喜田二郎・著

『川喜田二郎著作集別巻』

—私の人生論・年譜・著作目録・
総索引—

『川喜田二郎著作集(全十三巻)』
は、一九九五～九八年にかけて中央
公論社より刊行された。編集にはK
J法が用いられ、川喜田氏の主張が
全巻にわたって貫きとおされており、
好評を得ている。本書はこの全集の

別巻として刊行された「著作目録」
を中心とした人物書誌である。本論
に当たる著作集全巻目次・年譜・著
作目録・総索引・図解索引などの他
に、二二〇ページにわたり「私の人
生論・交遊録」と題して、全十三巻
には収容しきれなかったものも収録
されている。

中心となっている「著作目録」は、
全集刊行のための準備作業として、
一九九〇年四月に着手してから九四
年十月に全十三巻の巻別の区分けが
終了するまでの間、秋山恭子・俱子
姉妹による五年間に及ぶ文献調査作
業の末にできあがったもの。一九三
四～九七年までに執筆された一〇二
一点の著作が収録されている。

内容には発想法の科学やKJ法な
ども含まれているが、もとはといえ
ばヒマラヤの学術調査における野外
調査の整理法から生まれたもので、
原点はやはり登山と探検であり、大
興安嶺や西北ネパールの学術探検、
マナスル科学班によるヒマラヤの植
生と作物帯調査、ヒマラヤ山村への
技術協力、ヒマラヤやチベットの文
化生態学、世界の中のチベット文明、
アジア文明論などに及ぶ広範囲のも
のである。

なお著作目録の編者は、前号の沼
田眞氏の目録作成者堀込静香氏と一
緒に「ネパール研究ガイド」解説と

文献目録」をまとめた仲間、全員
が大学図書館の専門家である。その
上、かつて本会の図書室の分類など
につき指導と助言をいただいたこと
があった。(松田雄一)

一九九八年九月 五五二ページ
中央公論社発行 九千五百円

中浦皓至・著

『日本スキー・もうひとつの 源流』—明治四十五年北海道—

日本のスキー史は明治四十四年、
新潟県の高田に発するのが定説だが、
それより早く北海道帝国大学の校庭
で滑った逸話がある。

著者はそれらの資料を十五年にわ
たって探索し、多くの新事実を発掘
した。従来の定説を覆す画期的なも
のはいくつかある。スキーを伝えた
ハンス・コラーやレルヒの行動を時
代考証し、北大スキー発祥説の検証、
北海道スキーの夜明け前、北海道ス
キー登山の嚆矢、北大スキー部の創
設と活動、大正時代の発展までを詳
説している。

巻末の文献目録は一五四九年から
一九九八年までの外国文献を含め五
二ページ、約千七百件を収録。

一九九九年一月 北海道大学図書刊行
会発行 三五六ページ 三千五百円
(高澤光雄)

松坂良一・編

一九九七年チアジャジマ峰登山

報告書『遥かなり 曲阿加吉瑪』

新潟県山岳協会創立五十周年、中国青海省登山協会兄弟締結五周年記念事業として、日中合同登山を計画した。青海省維多県、玉樹藏族自治州に源を持つ瀾滄江(メコン川)の源頭にそびえる未踏の最高峰、曲阿加吉瑪(チアジャジマ峰、五九三〇メートル)の登山と、動植物、河川の学術調査などが前年より両国間で検討され、登山の実行することになった。

九七年五月、日中合同偵察隊が未踏の山麓地帯に向かったが、雪のため車馬が使えず、情報の収集と目途をつけるに留まった。本隊は七月二十六日、八月二十三日までの二十九日間の日程で、日本側八名(平均年齢五十一歳、三十代の二名を除くと五十七・三歳のシルバー隊員)、中国側九名(平均年齢四十歳)の構成である。七月二十九日、西寧よりパジェロ三台で青海高原を一三〇〇キロ、五日間で走破、五〇八二メートルの峠を越えて山麓に入る。さらにヤクと馬で四八〇〇メートルのBCに八月六日に到着。未踏の地にある山を求めての行動は、予期しないことの連続で日程が迫り、八月十四日、II峰(五八九〇メートル)に五六五〇メートルのC2より登頂した。五二〇〇メートル以上は氷雪を交えた岩石で、岩登りの領域。八月八日の立秋をすぎると、天候は悪化するため日程は六週間ほしいという。

未踏の地での苦勞が偲ばれる労作である。

一九九九年一月 新潟県山岳協会発行 (三沢二三)

図書受入報告(1999年4月)

著者	書名	ページ・大きさ	出版元	出版年	寄贈/購入別
森茂明	芦生奥山炉辺がたり	187pp/19cm	かもがわ出版	1999	出版社寄贈
仙台市(企画)	ページのなかのせんだい：杜の文学風景	180pp/21cm	宝文堂	1999	企画者寄贈
藤田弘基	THE HIMALAYAS (写真集)	95pp/46cm	ぎょうせい	1987	著者寄贈
藤田弘基	THE ALPS (写真集)	95pp/46cm	ぎょうせい	1986	著者寄贈
藤田弘基	THE KARAKORUM (写真集)	95pp/46cm	ぎょうせい	1990	著者寄贈
藤田弘基(撮影)	素顔のグライ・ラム14世	125pp/30cm	ぎょうせい	1989	著者寄贈
藤田弘基	ヒマラヤ満天星(写真集)	82pp/19cm	平凡社	1998	藤井昭孝氏寄贈
田中薫(編)	大氷河を行く：南米チリ・パタゴニア探検	232pp/19cm	毎日新聞社	1958	関西支部寄贈
太田悦子	黒部峡谷山暮らし：エッチャンの日々・・・	238pp/19cm	桂書房	1999	出版社寄贈
小川誠	槍ヶ岳 3000mの峻峰：小川誠写真集	70pp/25cm	東京新聞出版局	1999	出版社寄贈
石垣博史・石垣修司	百名山からの眺望(CG版)	317pp/22cm	東京新聞出版局	1999	出版社寄贈
大石高志・中西俊明	白馬・鹿島槍・針ノ木岳(岳人ポケットガイドNo.2)	139pp/19cm	東京新聞出版局	1999	出版社寄贈
今野岳志	赤石・聖・光岳(岳人ポケットガイドNo.7)	139pp/19cm	東京新聞出版局	1999	出版社寄贈
川井靖元	尾瀬・檜枝岐(岳人ポケットガイドNo.12)	139pp/19cm	東京新聞出版局	1999	出版社寄贈
科学技術庁(編)	火山ガス災害に関する緊急研究成果報告書(平成9年度科学技術振興調整費)	168pp/30cm	科学技術庁研究開発局	1999	森武昭氏寄贈
小倉厚	定年後は山歩きを愉しみなさい(ハルキ文庫No.お-3-1)	247pp/16cm	角川春樹事務所	1999	著者寄贈
小倉厚	若さの秘訣は山歩き	267pp/19cm	角川春樹事務所	1999	著者寄贈
JAC東海支部	クーラ(チャルン)峰-6546m-初登頂	110pp/30cm	JAC東海支部	1999	発行者寄贈
Harish Kapadia (ed.)	The Himalayan Club Newsletter (52nd, 1999)	64pp/25cm	The Himalayan Club	1999	発行者寄贈

ルーム日誌

4月 山の自然学研究会

2日 会報編集委員会

5日 総務委員会

6日 アルパインスケッチクラブ

山げらの会

7日 二火会

8日 常務理事会 フォトビデオ

ラブ 学生部

9日 ミニ水力発電実行委員会

12日 アルパインスキークラブ

13日 財務委員会 二火会 アルパイン

スケッチクラブ 95同期会

14日 理事会 図書委員会

15日 評議員会 科学委員会 山の

自然学研究会 アルパインス

ケッチクラブ

16日 資料委員会 データバンク研

究会

19日 総務委員会 フォトビデオ

クラブ 図書委員会 97同期会

20日 アルバータ実行委員会 集会

委員会

21日 三水会 山研運営委員会

22日 臨時理事会 フィルムビデオ

クラブ

23日 緑爽会 学生部

24日 評議員会

27日 自然保護委員会

4月来室者 616名

会務報告

四月理事会

日時 四月十四日(水) 十八時三十分

二十時二十分

場所 日本山岳会一〇四号室

〔出席者〕 斎藤会長、小倉、大森、竹内各副会長、田邊、吉永、熊崎、絹川、勝山、村井、飯田、鯉坂、増山、森、太蔵、宇田川、宮崎、坂本各理事、石橋、神崎各監事、平山、長尾、中川、平野各常任評議員

〔委任〕 中村、穴田各常任評議員

【審議事項】

一、絹川総務担当理事より、平成十年度事業報告は既に提出のものに訂正・追加があった。 了承

吉永財務担当理事より、収支決算は別紙をもとに報告。会費納入率は九五パーセントと良好だが、新入会員は六十名ほど減。四、六月のための繰り越しも概ね例年どおりである。環境財団および読売新聞社からの補助金の処理も良好。今年から会外に貸し出し、委託しているものについては貸し出し先の棚卸し確認書の提出をお願いした。 承認

石橋監事より、会計監査は十三日の監査結果について、会計帳簿など正確であり、業務執行についても妥

当である。とくに特定預金のうち秩父宮記念山岳賞基金について今後とも充実に配慮するように、との指摘があった。 承認

二、秩父宮記念スポーツ博物館より資料貸し出しの更新、プランニングコートよりウエストン関係の写真および図版の掲載許可、山と溪谷社より資料および写真の掲載ならびに許可願いが出された。資料担当の鯉坂理事と相談のうえ許可したい。承認

三、資料委員会より、山研のウエストン特別展のため、貸し出し資料二点(信濃支部三十周年報告書)「主の御名において」の追加が申請された。 承認

四、北海道支部より三十周年記念事業のため会章に三十周年等を加えたものを使用したい、との申し出があった。 承認

五、坂本山研担当理事より、上高地山研の利用料等について、先に承認されていることに加え、会員の配偶者を会員に準ずる扱いに改定したい、との申し出があり、資料に基づいて説明があった。

次の利用者については会員に準じ、同一料金とする——①会員の配偶者を会員扱いとする ②団体加盟会員(その所属する全員を会員扱いとする) ③学生部加盟大学山岳部(その所属する全員を会員扱いとする) ④海外山岳団体 ⑤本会

職員、このように管理規定および利用規定を改定し、利用者の増加を図りたい。 承認

六、改選される九名の新評議員の推薦については、年齢、支部などを含めて議論し、候補者を推薦することにした。 承認

七、神崎監事より、評議員会の新役員の推薦、理事会の新評議員の推薦が遅れているようなので心配。ガソリンカーブンスム峰登山隊のように計画が挫折することは国際交流の点からも十分注意する必要がある。

〇五月に日本山岳協会の招聘により、中国登山協会より主席以下九名が来日する。歓迎会などへの参加に協力してほしい。

【報告事項】

アルバータ実行委員会・熊崎

三月十八日、第一回実行委員会を開催した。

総務委員会・絹川

三月二十七日、春季新入会員オリエンテーションを開催した。

財務委員会・吉永

会費滞納者、除籍対象者の削減へ各理事の協力を要請。

山研委員会・坂本

今年の山研開所は四月二十九日。ミニ水力発電については、関係官庁へ書類を提出済みだが、五月初旬より学生部の若い力の協力を得て実作

業に入りたい。

科学委員会・大蔵

マッキンリー登山について、隊長の大蔵理事より計画書に基づいて説明があった。本年度は学生の希望者が多く、また年配者の参加もあるもので、医療委員会と協力して高所順化のトレーニング計画を盛り込んだ。

医療委員会・増山

順化トレーニングは計画書に沿って、文部省登山研修所の事業に協力する形で隊員が被験者となる、との説明があった。

総務委員会・絹川

北海道、山梨、宮崎、岩手の各支部より支部総会の開催報告があった。

■会員異動

物故

松田祥二(一〇四三七) 99・3・1

谷正雄(一〇七一一) 99・3・6

近藤友好(九四三二) 99・3・31

田中重輔(六一五二) 99・4・2

横溝修一(九六五二) 99・4・9

退会

成松雅江(八七九九)

深谷泰(八八八三)

近藤久子(九五三五)

山中稔(二二二一六)

終身会員

吉野禎造(四五九五)

長岩嘉悦(四八五九)

INFORMATION



イラスト・村上直温

◆全国支部懇談会開催

主管・岐阜支部

秋の美濃路で今年度全国支部懇談会を開催します。二日目は養老山(一等三角点)の山頂からアルプス、白山の展望を楽しみます。

日程

十月十六日(土) 岐阜県大垣市万石町

大垣フォーラムホテルで支部

懇談会および懇親会

十月十七日(日)

養老山(八五九メートル、登

り二時間半)登山、または関

ヶ原古戦場見学および伊吹山

登山(観光コース)

費用

二万二千元(自家用車利用は

一万九千元、観光コース二万

三千元)

申込

官製はがきに氏名、会員番号、

性別、年齢、住所、電話番号、

所属支部名、参加コース、往

路到着駅、帰路出発駅(新幹

線岐阜羽島駅、在来線大垣駅、

名古屋空港)または自家用車

利用(チャーターバスを含む)

を記入して左記へ。

*各駅、空港へは往復とも送迎バス

が出ます。

宛先 〒五〇三―一三三三

岐阜県養老郡養老町中一五七

高木泰夫宛

締切 八月十五日(定員百五十名)

*申込者へは後日、詳細案内を送付します。

◆ラリグラス・プロジェクトに参

加しませんか

自然保護活動にはするべきことが

たくさんありますが、これはネパール

人の植林意欲を啓発するために行っ

ているプロジェクトです。舞台はカ

トマンズの北シバプリと、ポカラの

奥地・ゴラパニ。既に三年間植林を続

けて、だいぶ目鼻がついてきました。

このプロジェクトは今年も地球環

境基金の助成を受けることができま

した。樹が育つのは何年かかるのか

を考えるのは、JACの永い将来を

考えるのと同じことで、そうしたお

気持ちをお持ちの方の参加をお待ち

します。

連絡先 大森弘一郎(自然保護委員)

TEL・〇四五―八三三―八五〇五

◆自宅でできるトレーニング講座

山げらの会

日時 六月二十二日(火)

七月六日(火)

いずれも十八時三十分～二十時

場所 日本山岳会ルーム

連絡先 参加希望者は三井吉由江へ

TEL&FAX・〇三―三四五―五三八八

*軽装、敷物をご用意ください。

◆日本山岳画協会展

作品約三十六。

日時 七月九日(金)～十五日(木)

十一時～十八時三十分

(十一、十五日は十七時まで)

会場 朝日アートギャラリー

東京都中央区銀座四一〇一

TEL・〇三―三五六七―一六七二

連絡先 牧潤一まで

TEL&FAX・〇四九二―六四一―七三六九

*入場無料

◆奥日光、光徳で懇親例会を開催

します 95同期会

場所 奥日光・学習院光徳小屋

日時 七月十七日(土)十八時懇親会

開始 十八日(日) 登山

費用 八千円程度

募集 三十名(先着順)

申込 会員番号、氏名、性別、年齢

郵便番号、住所、電話(ファッ

クス)を明記の上七月八日ま

でにハガキ又はファックスで

〒一六六―〇〇二二 杉並区

和田一三三―一二二

福岡孝昭宛

TEL&FAX・〇三―五三四―八五四四

◆平沢利夫「山の絵展」

会場 長野市 岡田八十二別館ギヤ

ラリー

日時 六月二十九日(火)～七月四日(日)

◆編集後記◆

昭和五年創刊の機関紙「山」は只今、六十九歳。編集スタッフ一同責任の重さを痛感しつつ、非才ながら日夜研鑽させていただいています。伝統と格式を重んじつつ、これからの新しい登山の方向性も模索しなければ―という思いもしきり。JACのさらなる発展のために、会員の皆様の変わらぬご協力をお願いします。(村井)

●原稿送付のお願い

宛先 村井葵(〒一九四―〇〇三二

町田市森野三二二)

FAX 〇四二―七三二―五五二八

パソコンで原稿製作される場合は

Eメールで奈良原町子宛

narahara@nvc.biglobe.ne.jp

FAX 〇三―三三三―四一八二

日本山岳会報 山 649号

1999年(平成11年)6月20日発行

発行所 社団法人日本山岳会

〒102-0081

東京都千代田区四番町5-4

サンビュウハイツ四番町

TEL 東京 (03) 3261-4433

FAX 東京 (03) 3261-4441

発行者 斎藤惇生

編集人 村井 葵

印刷 株式会社 双陽社